



宮床中だより 「ささくら」

学校教育目標
「豊かな心を持ち、自ら学び共に高め合う生徒の育成」

【第12号】 1月9日（水）発行

大和町立宮床中学校
電話：(346) 2006

3学期がスタートしました!



新年を迎え、1月8日（火）から平成30年度第3学期がスタートしました。この3学期は、生徒にとって1年間のまとめの学期であるとともに、進級・進学への準備の学期でもあります。生徒はそれぞれに、「今年の目標」や「新たに挑戦したいこと」などを心に期して始業式に臨んだことと思います。その実現を目指して、一日一日を大切に、着実に歩いていってほしいと願っています。また、私たち教職員も、生徒一人一人の成長のために、指導・支援に努めてまいりますので、これまでと同様に、ご理解やご協力を賜りますようお願いいたします。

【1/8 第3学期始業式 校長式辞より】

生徒の皆さん、おはようございます。

そして、あけましておめでとうございます。

平成最後の年、平成31年がスタートしました。しかし、学校は4月始まりの年度で動いているので、この1月は3学期のスタートでもあります。3年生は全員志望校合格を、1・2年生は最後の行事である3年生を送る会の大成功を目指して、全力で駆け抜ける学期にしてください。

さて、「駆ける」と言えば、今年も2日と3日に箱根駅伝が行われ、「青山学院大学5連覇ならず」「総合優勝、往路優勝、復路優勝がそれぞれ別の大学になる」など、たくさんのドラマが生まれました。その箱根駅伝の発案者の一人として、第1回の開催に尽力したのが、金栗四三（かなくりしそう）という人物です。この人物こそが、今年のNHK大河ドラマ「いだてん—東京オリンピック囃い—」の主人公です。

この金栗は、日本人最初のオリンピック選手として、1912年（明治45年）にスウェーデンのストックホルムで開催された第5回大会のマラソン競技に出場しています。金栗は前年のオリンピック予選会で、当時の世界記録2時間32分45秒を出していました。まさに期待の選手です。では、この金栗のストックホルムオリンピックの記録はどうだったのでしょうか？なんと、その記録は… 54年と8か月と6日 5時間32分20秒3というオリンピック史上最も遅い記録でした。54年以上もかけて走った金栗に何があったのでしょうか？

そのドラマについては、今回もプリントを用意したので、教室で読んでください。心がほんわかとするお話です。

最後になりますが、生徒の皆さんが充実した3学期を過ごし、卒業、修了の日を迎えてくれることを期待して、式辞とします。



【始業式で今学期の目標を発表をした生徒代表の皆さん】

1年 さん、2年 さん、3年 さん、生徒会 さん です。

「自転車の安全利用について」

寒さが一段と厳しくなり、登下校時も積雪や凍結が心配され、交通安全により一層注意が必要な季節になりました。ご存じの方も多いと思いますが、仙台市では平成31年1月1日から「仙台市自転車の安全利用に関する条例」が施行され、仙台市内を通過する自転車の利用者に対して、自転車損害賠償保険等の加入が義務付けられました。本校では、自転車通学をする場合、業者による整備・点検を受けた上で許可証を発行していますが、通学時に限らず自転車を利用する際には、ヘルメットを着用して交通ルールを遵守し、安全に十分に留意して利用してほしいと思います。ご家庭でもご協力をお願いします。